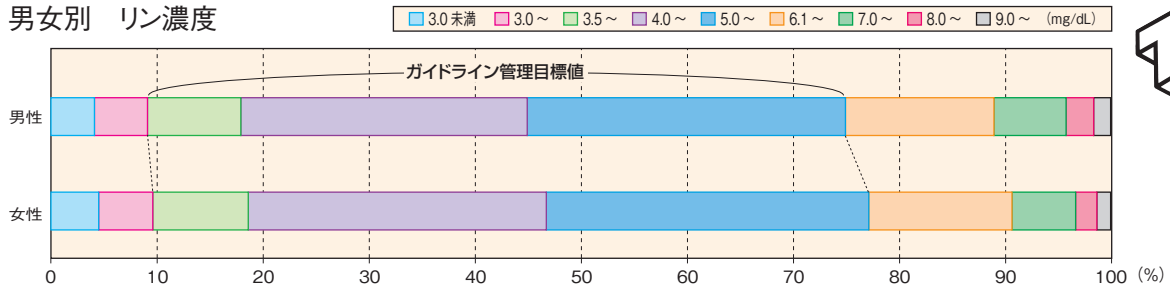


4) CKD-MBD関連

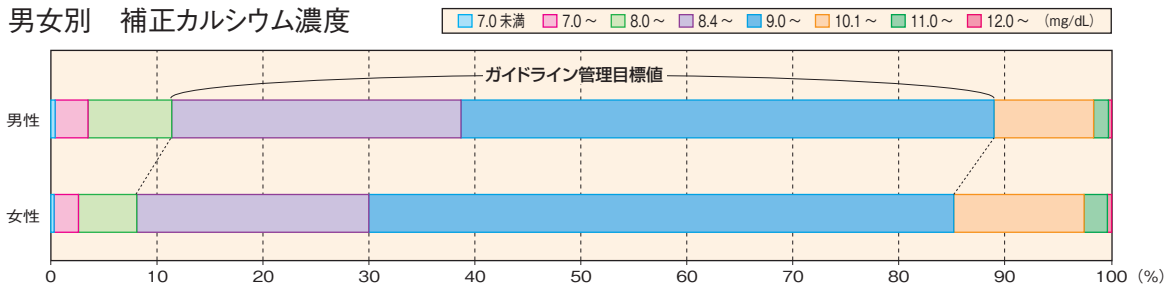
(1) 男女別MBD関連マーカー (図表38)

男女別 リン濃度



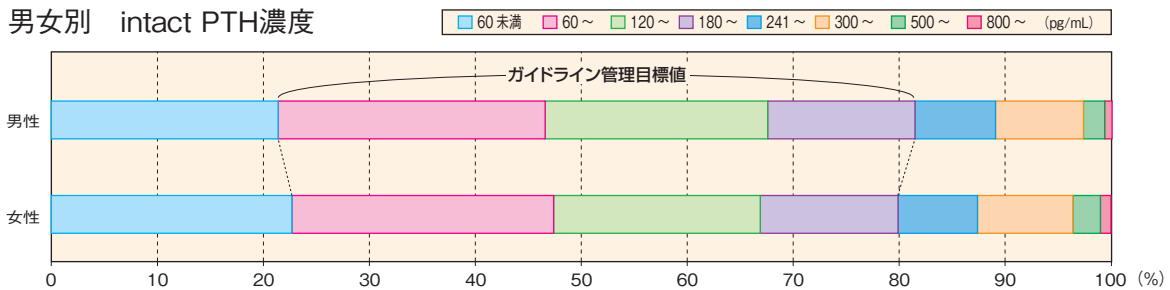
性別	3.0未満	3.0~	3.5~	4.0~	5.0~	6.1~	7.0~	8.0~	9.0~	合計	平均	標準偏差
男性 (%)	6,967 (4.1)	8,570 (5.0)	15,018 (8.8)	46,022 (27.0)	51,044 (30.0)	23,914 (14.0)	11,554 (6.8)	4,426 (2.6)	2,711 (1.6)	170,226 (100.0)	5.22	1.46
女性 (%)	4,478 (4.5)	5,089 (5.1)	8,997 (9.0)	27,970 (28.1)	30,274 (30.4)	13,420 (13.5)	5,945 (6.0)	2,039 (2.0)	1,269 (1.3)	99,481 (100.0)	5.14	1.44
合計 (%)	11,445 (4.2)	13,659 (5.1)	24,015 (8.9)	73,992 (27.4)	81,318 (30.2)	37,334 (13.8)	17,499 (6.5)	6,465 (2.4)	3,980 (1.5)	269,707 (100.0)	5.19	1.44

男女別 補正カルシウム濃度



性別	7.0未満	7.0~	8.0~	8.4~	9.0~	10.1~	11.0~	12.0~	合計	平均	標準偏差
男性 (%)	609 (0.4)	5,216 (3.1)	13,278 (7.9)	45,567 (27.3)	84,086 (50.3)	15,678 (9.4)	2,303 (1.4)	444 (0.3)	167,181 (100.0)	9.18	0.75
女性 (%)	314 (0.3)	2,246 (2.3)	5,343 (5.5)	21,419 (21.9)	54,009 (55.2)	11,995 (12.3)	2,107 (2.2)	396 (0.4)	97,829 (100.0)	9.33	0.77
合計 (%)	923 (0.3)	7,462 (2.8)	18,621 (7.0)	66,986 (25.3)	138,095 (52.1)	27,673 (10.4)	4,410 (1.7)	840 (0.3)	265,010 (100.0)	9.23	0.76

男女別 intact PTH濃度



性別	60未満	60~	120~	180~	241~	300~	500~	800~	合計	平均	標準偏差
男性 (%)	33,752 (21.4)	39,782 (25.2)	33,117 (21.0)	21,963 (13.9)	11,959 (7.6)	13,132 (8.3)	3,151 (2.0)	1,139 (0.7)	157,995 (100.0)	160.88	151.54
女性 (%)	20,888 (22.7)	22,732 (24.7)	18,008 (19.5)	11,958 (13.0)	6,915 (7.5)	8,249 (9.0)	2,418 (2.6)	966 (1.0)	92,134 (100.0)	167.26	175.00
合計 (%)	54,640 (21.8)	62,514 (25.0)	51,125 (20.4)	33,921 (13.6)	18,874 (7.5)	21,381 (8.5)	5,569 (2.2)	2,105 (0.8)	250,129 (100.0)	163.23	160.61

集計対象：透析患者全体

解説

2012年末における男女別のリン濃度、補正カルシウム濃度、intact PTH濃度の分布を示す。

リン濃度は男性でやや高く、補正カルシウムおよびintact PTH濃度は女性でやや高い傾向であった。

わが国のCKD-MBDガイドラインの管理目標値（リン：3.5～6.0mg/dL、補正カルシウム：8.4～10.0mg/dL、intact PTH：60～240pg/mL）を達成する頻度を男女間で比較すると、リン濃度（男性：65.8%、女性67.6%）補正カルシウム濃度（男性：77.6%、女性77.1%）、intact PTH濃度（男性：60.0%、女性57.2%）であり、男女間で明らかな差を認めなかった。

なお、whole PTHについては、intact PTH=1.7×whole PTHの換算式を用いて集計を行った。（図表38～42）

*注：上記図表内の補正カルシウム値に関連する集計値は調査確定値に基づいている（参考：わが国の慢性透析療法の現況（2012年12月31日現在）CD-ROM版、日本透析医学会、東京、2013.）。